



写真:ムラサキナギナタタケ (撮影:平成29年10月3日)

「ムラサキナギナタタケ」

コケとのコントラストが美しい

日に日に暑さが増すこの季節ですが、標高1200mのえびの高原は平地と比べ6〜7℃ほど気温が低く快適です。オスマメはピクニック広場。芝生とコケに覆われた広い空間は風通しが良く、ゴロゴロするにも最高です。

そんな一面の緑の中に、紫色の奇妙なものを見つけました。高さ5〜10cmほどで束になって地面から生えています。これはムラサキナギナタタケというキノコ。長く平らな形をしているため、「薙刀茸」となったそうです。アカマツの根本周辺でコケと落ち葉の間からニョキニョキと生えており、緑茶色、紫色のコントラストがとても美しいキノコです。

県内では「センコウタケ」や「ソウメンタケ」などと呼ばれ、松林で発生する他のキノコ採集のついでに採られていたそうです。

初夏と秋の2回発生し、コケとの共演を楽しませてくれるムラサキナギナタタケ。えびの高原を彩る花々と一緒に、キノコの彩りも楽しんでみてはいかがでしょうか。
(文/えびのエコミュージアムセンター)

ムラサキナギナタタケ ヒダナシタケ目シロソウメンタケ科
Alloclavaria purpurea